



生活にかかすことのできない栗山川…きれいいでいてほしい

廃棄物の不法投棄については、全国的に問題になっています。皆さん方も、新聞やテレビなどでよくご存じのことと思いますが、誰もがやつてはいけないことを知りながるやつているのが現状の



知つていて守れない不法投棄

齊 藤

貢
(傍示戸)

ようです。不法投棄のためにどれくらいの人が迷惑し、またその処理について、役場と県をはじめとする関係機関などが連絡をとり、いろいろ手をつくしているところです。そして、町では昨年4月から「光町不法投棄監視員制度」を設け、私もその一人として監視員を行っていますが、栗山川堤防一帯が特にひどく、どこ

によつては木の根ばつかや野菜くず等が散乱し、悪臭がひどいです。また、各集落に設置されている危険物及び生ごみのステーションは指定以外の袋によるものが多く見受けられます。

いずれにしても、ルールを知つていて守れないということが実態のようです。人はみんなわが子を立派な良い子にするため、高校

私たちは、台所の排水がどこへ流れていっているのか、それがやがてどんな結果をもたらすのかなど、ほとんど気にもかけないで暮らし、多くの家庭が、ただ目前をきれいにすることだけに専念して洗いながらいます。

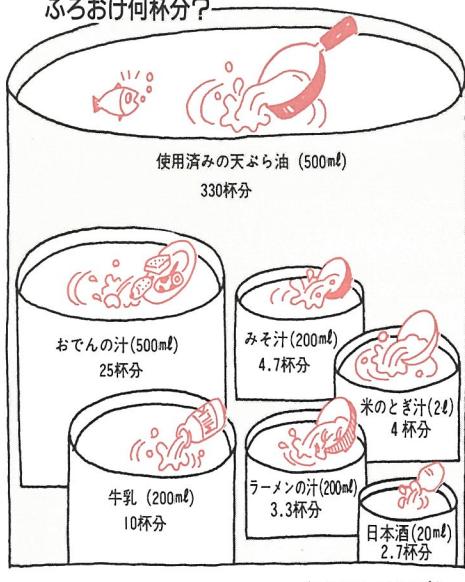
そこで、ちょっとと考えていただきたいのですが、私たちは流末になる栗山川へきれいな水をながすように心掛けているのかということ

一般的に川や海の水質汚濁は、工場や家庭の排水によって引き起こされます。しかしながら、工場などの産業系の排水は、法律や条例等で規制され対策が講じられています。一方、家庭の排水はし尿以外には規制がありません。従つて台所排水が水質汚濁の大きな原因になつていていることに注目しなければなりません。

水質汚濁は台所排水が原因

です。

魚が住める水質にするために必要な水の量はふろおけ何杯分?



家庭で実行したいこと

利用したりして、くずやカスを取るようにする。

▼ 使用済の油は、絶体に流し捨てしない。

▼ フライパンや中華鍋、油料理の皿などの食器は、いきなり水洗いしないで、紙や布でよく拭きとつてから洗う。

▼ 合成洗浄は、あらかじめ薄めた液をつくつておく。

▼ 米のとぎ汁や魚の血水、あとかたづけの際の汁のものはやビールなどの残りものはそのまま流してしまわず、いったん溜めて土中に浸透させるとか、肥料として利用するなどの工夫をする。

▼ 流しにはくず入れの三角コーナーなどを置き、水きり袋やろ紙を敷いたり、古いナイロンストッキングを

用するなどの工夫をする。

▼ 流しにはくず入れの三角コーナーなどを置き、水きり袋やろ紙を敷いたり、古いナイロンストッキングを

用するなどの工夫をする。

▼ 流しにはくず入れの三角コーナーなどを置き、水きり袋やろ紙を敷いたり、古いナイロンストッキングを